

index

2021〈第23号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 郡市区医師連盟だより(洲本市医師連盟)
- 議員座談会 参議院議員 伊藤孝江氏
- 自民党兵庫県連 各種友好団体との政策要望に係る意見交換会
- 参議院議員 自見はなこ お知らせ

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟
〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11
Tel 078-231-4114
<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>
編集責任者 松本 卓



医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 松本 卓

先に投票が行われた北九州市議選では自民党(現有議席22)公認候補22人の内6人が落選

2021年を迎えても新型コロナウイルスは猛威を振り、医療崩壊に瀕する局面を迎えています。ただ、1月下旬となって全国的にもPCR陽性者数は減少傾向で、実効再生産数も0.7台と収束に向かいつつあると感じるところです。色んな統計資料を分析すると実は1月8日には峠を越えていたようで、緊急事態宣言はピークアウトした後に出されたという皮肉な現実を指摘する学者もいるようです。

さて、今年は選挙の年です。秋には衆議院議員選挙が控えていますし、当地では兵庫県知事選挙が実施されます。井戸知事の不出馬はまず間違いのないことですので、事実上井戸知事の後継候補と維新の候補との争いとなる可能性が大です。このところ維新は非常に勢いがあり、大阪のみならず兵庫県下の選挙でも勢力を拡大しており油断のできない政敵です。

を行う必要があります。感染拡大防止対策はもちろん重要ですが、経済を締め付ける施策によって自殺者は急増しており、若年層の自殺が増えています。どちらの命も我々は救う必要が

あると考えます。冷静な視座で客観的事実に基づいて物事を判断する政治家を選出することが大切であると考えます。本年の選挙活動にも是非ご協力をお願いいたします。

郡市区医師連盟だより

【洲本市医師連盟】

2020年12月12日(土)神戸康風会(井植貞雄会長)主催の『西村康稔特別セミナー』に参加しました。写真は、セミナー直前に控室で撮らせていただいた写真です(神戸ポトピアホテルの問)。翌日NHK日曜討論出演のため、とんぼ返りをされ、そのスケジュールはまさに超多忙。東京でのスケジュール、関西でのスケジュールと、

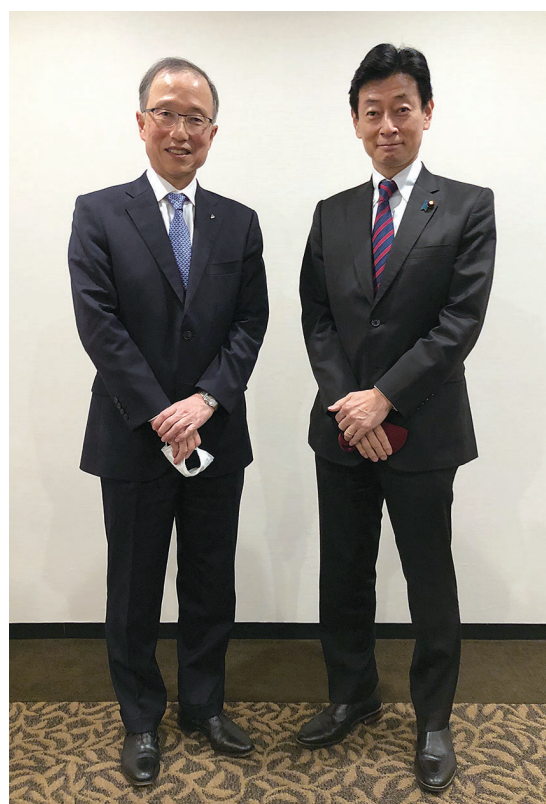
分刻みの予定表の中に、「17時50分木村先生と写真撮影」という文字を見つけ、感激しました。撮影開始は大幅に遅れましたが、秘書の方とお話が出来、大臣がいかん頑張っておられるか知ることができました。「淡路は大丈夫なんですよ?」「はい、でも、島外からの患者さん受け入れで、病院は大変です。」大臣との会話は短かったですが、おそらく一を聞いて十を察知されたことと思います。



講演風景

特別セミナーはコロナの現状、経済対策のことなど、大変わかりやすく、興味が湧くお話でした。特に米國アスラ社(トヨタの2倍価値があるという)の自動運転のお話は圧巻でした。

民が増える可能性もでてきます。逆に神戸などより、若い医療従事者の通勤が増える可能性もあります。これは人口減少社会を打破する、大きな武器となるかもしれません。



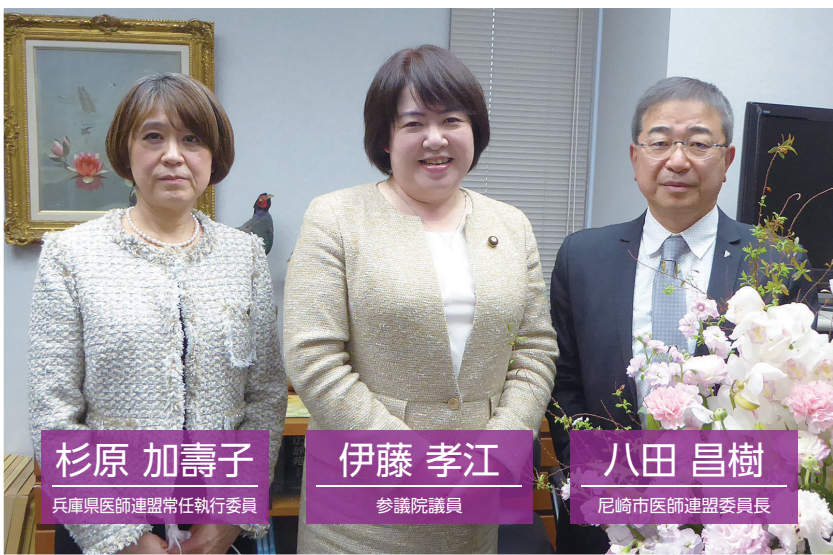
西村康稔大臣と

淡路島は電車がなく車社会です。自動運転が実現すると、いろいろなことが好転します。例えば、患者さんの受診、又は往診時のツールとして。また、神戸などへの通勤が楽になり、住

淡路島は人口12万。票田としては明石市30万に比べれば少ないですが、西村大臣は、初当選の時より、各家を一軒一軒歩いて回られました。「本人です」というたすきをかけて(笑)。本当に、地元の人一人ひとりと会話して、地元を知る努力をされた。そんな大臣ですから、児玉和也洲本市医師連盟委員長を中心に、これからもより一層応援していくつもりです。

木村一郎

兵庫県医師連盟 座談会



杉原 加壽子

兵庫県医師連盟常任執行委員

伊藤 孝江

参議院議員

八田 昌樹

尼崎市医師連盟委員長

杉原 本日はお忙しい中、尼崎までお越しいただきありがとうございます。よろしくお願いします。

まず、先生のご経歴と生い立ちを教えてください。ホームペー

ジを見せていただきましたが尼崎のお生まれとか。

伊藤 当時、父親が日本ハムに勤めていて、尼崎市の北大物にあった杜宅に4歳くらいまでいました。それから大阪市東淀川区の上新庄に住み、府立北千里高校に入学後、高校1年の時に宝塚市へ引っ越ししました。

関西大学に進学し、卒業後は司法試験浪人をして、27歳の時に合格し、30歳から弁護士をしています。

杉原 議員になられたきっかけや、政治活動に興味を持たれたきっかけは何ですか。

伊藤 昔から公明党の党員で選挙の時には友人に、冬柴さんをお願いねとか、そういう支援活動はずっとしていました。政治家になることは全く考えていませんでした。議員になるきっかけは、公明党の赤羽県代表から声をかけていただき、参議院への出馬を考えるようになった。

杉原 今日は女性同士の対談ということで女性ならではの質問をさせていたと思うんですが、議員や弁護士をしていて、女性の強みや、逆に弱みにつ

いて、仕事の中では感じる点がありますか。

伊藤 私自身が感じるというよりも、周りがどう捉えていたか、思っているのかということかと思っています。弁護士の働き始めは、いわゆるイン弁として、ボスの事務所働くのですが、依頼者からするとボスに相談しに来たのに、若い女性が対応するというので、代わって欲しいと言われることもあれば、ボスが同席していただけないが、そうじゃなかったら嫌だと言われることもありました。ただそれは、女性だからというよりも、なりたての人は嫌だということだと思っています。もちろん自分の力のなさも実感することもありました。杉原先生もそういう経験をされたことはありますか。

杉原 私もそういう経験はあります。早く30歳になったかったですね。30歳になっても何も変わらなかったですが、27、8歳ぐらいが一番中途半端だと思っています。

伊藤 特に女性の場合、女性というだけでも、また、結婚しているとか子供がいる方が、自分と同じような立場や経験をしていると相談しやすいと感じる方も多いようなので、そこは女性弁護士の強みになるかなと思います。

杉原 議員になられてからは、性別を感じる機会は少なくなり

ましたか。

伊藤 いいえ、議員になってからの方が、女性の目線や視点でいうことを期待されることは多いです。弁護士の時は、依頼者の希望があって、それに対応できれば、性別は関係ないですが、今、兵庫県には女性の国会議員がいないので、女性からすると、自分の生活や子育てに直結するような施策について、女性議員にしっかり取り組んで欲しいという期待の声が多く、候補者として各地を回らせていただいた時にも、公明党支持ではない女性からもそういうお声をいただきましたので、期待に応えないといけないと思っています。

杉原 それは、分かります。どうしても女性に期待してしまう。私も今日先生との対談を楽しみにしていました。男性とお話するのはちょっと違う視点で話を聞いてもらえると期待していますね。

伊藤 私もあります。

杉原 議員になられて、特に熱心に取り組んでおられることは。

伊藤 今、公明党の中の養育費の問題に関するチームで事務局長をさせていただいています。離婚後、多くは母子と一緒に住んでいて、お父さんが別に住む

というパターンが多いですが、お母さんが子育てをし、お父さんは経済的なサポートをする。その生活費として払うのが養育費なのですが、なかなか払ってもらえない。実際に厚労省の統計でも、養育費を受け取っている母子は大体24%で、子供の貧困にもつながっています。子供は両親とも大好きなので、お父さんとの関係が切れないようにサポートすることも大切ということ、養育費をまず取り決める。もちろん養育費だけでなく、面会交流の機会も確保しないといけないですが、まずは生活面の現実的なサポートをどうするかというところで、大臣に要望したり、制度設計を新たに考えているところです。

杉原 尼崎だからということもあるのかもわかりませんが、DVで逃げた来たる人が警察に來れることがあり、養育費以前に面会交流を父親からは要求されるが、それに比べると居場所が分かってしまうというように、色々な不安を抱えた母親が結構いるので、難しいですね。

伊藤 離婚したいお母さん、したくないお父さんの両方の弁護に立たせてもらいましたが、子供をどちらが引き取るか、どちらかの言い分だけが100%正しいということとは少なく、どうすることが子供のためになるか

ということが大切で、法律で決めたから正解です、完成ですということにはならないので、すごく難しいなと思います。

八田 さっき言われた、養育費をもらっていない75%の中には、居場所を知られたくないとか、支払い能力がある父親がどれだけの収入かということも含まれていますよね。

伊藤 最初に決める人や離婚後に決める人は少なく、取り決める理由も、支払い能力がそもそもない場合や、話し合うことも面倒とか、相手と関わりたくないなど色々理由があり、どんなふうに制度に結びつけるかという難しさもあります。

杉原 弱い立場にいる男性もいるし、反対に経済力のある女性もいる。
伊藤 そうですね。当然経済的にきつい時もあるし、女性側の不倫が原因で離婚して、でも養育費は下さいと言われたら払わなければならないのかとか。子供のことなので、夫婦間の理由とは関係ないですが、気持ちとしては分からない。ある日家に帰ったら妻子がいなくなっていて、養育費を払って下さいみたいな通知が弁護士から来ると。本当に難しいことだなとは思いますが、どういう形であれば、子供にとってよいのか

ということでは、まず協議ができる場を作ろうと、話をする機会を増やしていくことが大事だと思っています。

八田 今は仕事がない人が多いですからね。男女共、一人で生活していくことは大変でしょうね。
杉原 この頃、保険証を見たらお母さんの扶養家族に入っている子も多いので、お母さんの方が経済力がある家族も増えたなあと感じます。
伊藤 そうなんでしょうね。
杉原 どうしても高齢化社会では子供はちょっと目の見えないと感じることがあります。例えば、最近では後期高齢者の自己負担に関して公明党と自民党が折り合った年収200万円の件も。

伊藤 75歳以上医療費の窓口負担を2割負担にする件ですね。
杉原 高齢者に手厚いということ、若い世代にしわ寄せが来るという世の中になってしま

う。
伊藤 今回はそのしわ寄せが少し若い人に行き過ぎているところを、どうやって負担を公平にしていくかというところの話になるかと。
八田 健保連からはもっと広く2割負担を求めていますからね。

(二面より)

伊藤 悩ましいですね。ただ、健保連からすると、解散する組合も増えており、みんなで支え合うことはなかなか難しい一方で、皆保険制度は何としても続けたいといけない制度です。で、しんどいこの時期をどう乗り越えるかということを考えなければなりません。

そういう意味では、医療に関わることでどういことをさせてもらっているかなど、政策的なところで考えていたのですが、最近ニュースでもよく取り上げられている不妊治療や不育症について、公明党も長年取り組んでいまして、不妊治療に対する補助制度ができたのが平成16年頃、坂口厚生労働大臣の時だったと思うのですが、公明党がその前に党の政策案として、女性委員会が全国で女性に署名活動を行い、ずっと不妊治療の助成には取り組んでいます。今

党のプロジェクトチームの事務局次長として、不妊治療とか保育所の支援のあり方をしっかりと作っていかないといいないと頑張っています。今回の国会で生殖補助医療に関する民法の特例の法律が成立しました。今回の民法の特例は、親子関係を決めるということです。卵子を提供した女性と出産した女性では、出産した女性を母親とする。夫以外の精子で子供を産んだ場合に、夫が精子の提供に同意していた場合、出生後に嫡出否認要は自分の子ではないという裁判を起すことはいいけないという、きちんと親子関係を決めると。不妊治療は当然、両親の気持ちもあれば、生まれてくる子供にとってもいい環境を作らな

いと、親が好き勝手に産むとか産まないとか、子供のことは知らないというわけにはいかなないので法改正がなされました。ただ、今回の基本的な親子関

係以外に考えないといけないことも多く、2年をめどにそれに関連するものを決めていこうというので、ちょっと課題を残している法律です。この前、超党派で、議員連盟が立ち上がり、私も幹事として入らせていただきました。大きい課題では、子供の出自を知る権利です。海外のように出自を知る権利をしっかりと守るということであれば、卵子や精子の提供者の情報を管理しないといけないですが、今は管理する仕組みは全くないので、どう制度設計すべきか、難しい問題なので、国民的な議論にして、いろんな人の意見を踏まなければ、法律として定めるのは難しいと思います。

杉原 要は、医学の進歩に法律が全然ついていってない。
伊藤 そうなんです。だから医学が進歩して不妊治療の方法も増えましたが、法律は明治時代のままなので、それを追いかけるべきなのか、先に行くべきなのか。止めるべきところは止めるということも法律の役割だと思えます。そのあたりも含めて医師会の先生方にいろいろ指導いただきたいと思います。

伊藤 最近、不妊治療がすごく取り上げられています。多くの方が不妊治療を経て出産しており、体外受精などを受けて生まれる子どもが2017年には約57,000人にまで増えていることを私は初めて知りまして。私が思っていたより現実はずいぶん進んでいて、難しい問題だと思っていますので、ご指導いただけたらありがたいです。

杉原 今後さらに取り組んでいきたいことはほかにもあります。子供に関して言えば、虐待とか。兵庫県は結構取り組んでいる方だと思いますが、
伊藤 この間、尼崎の「いくしあ」の視察を行いました。
杉原 来てくださったんですね。ありがとうございます、嬉しいです。

いこうと考えています。虐待の早期発見という点では、学校健診に携わる小児科や歯科の先生にも、虐待とか子供に対する親の関わりを見ていただく一つの機会にできればとも思っています。先生方にご協力いただきたいと思っています。やっぱり小児科をされていると、虐待が頭をよぎるといのはありますか。

杉原 虐待というわけではないが、家庭自体が子育て機能が落ちていくというか、マルチトメントというのですけど、不適切な養育という意味で、親が大人になり切れていないという面もあり、感情のままに怒ると子供がそれを受け止められず、色々と歪みが出てしまう。元来日本の社会はそんなに親がしっかり子育てしていたわけではなく、近所の人や周りが育ててくれた面があります。しかし最近では地域との繋がりが薄いので子育てはとても難しくなっています。

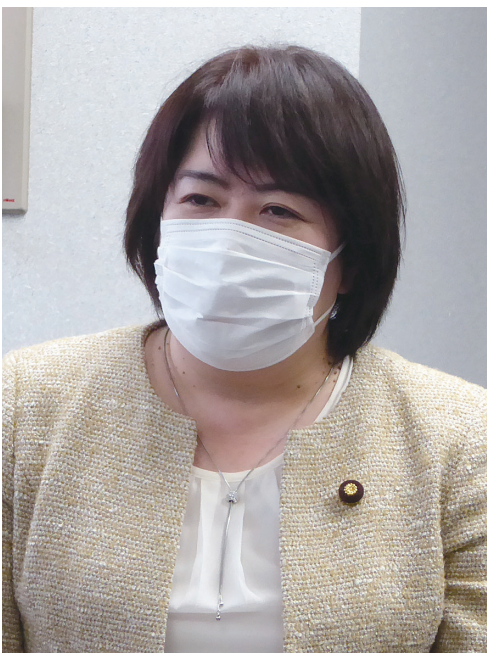
ポートがあったと聞いています。
杉原 尼崎は今もそんな感じが残っているところですけどね。
八田 今日は主に女性と子供のことが話題となっています。

ですが、色々な政策があるので、オンライン診療のこともありますし、医師会としては、「これ以上は反対するぞ」ということでもあるので、医師会の意見も尊重しながらよろしく願っています。
伊藤 「これ以上は反対する」という前に、ぜひ情報提供いただければありがたいです。
八田 後期高齢者の自己負担のことも、日本医師会から各府県医師会に、医師会の意見を地域の国会議員に言ってくれということでも活動した結果、自民党にブレーキをかけることができたのではないかと思います。



杉原加壽子兵庫県医師連盟常任執行委員

伊藤 ご意見をいただけたことは大変ありがたいです。
八田 我々医師会員の意見を代弁してもらっているのが連盟推薦の議員だと思っていますので、今後もしよろしくお願いいたします。
伊藤 こころから、これから意見交換の場を持たせていただければうれしいです。ところで、杉原先生は、なぜ小児科を選ばれたのですか。
杉原 内科は、消化器とか細分化されていますが、小児科は全身を診られるのが魅力で選びました。子供の世界は小さいけれど、先を読まない分、すごいパワーがあるんですね。大人は先が見えると思うんですけど、子供は何かと思うのですが、子供は何にもわからないから一生懸命頑張るし、意欲もあるんです。なのにつぶしてしまう大人がいるので、それは何とか避けたいと思っています。子供をちゃんと育てられる大人が多ければいい社会であって欲しいなと思います。子供って育てたように育ちますから。



伊藤孝江参議院議員

伊藤 私、尼崎に住んでいた頃は、両親とも実家が遠かったこともあり、長屋みたいなところに住んでいたもので、隣のおばちゃんや世話をしてくれたり、近所の人に一緒に銭湯に連れて行ってもらったり、親たちも近所になんか相談のってくれる人がいるなど自然に近隣のサ

伊藤 生命倫理の問題はすごく難しいですね。いきなり国民に問うても全然分らないし、感情的な意見しか出ないと思います。専門家の委員会を作って

伊藤 私、尼崎に住んでいた頃は、両親とも実家が遠かったこともあり、長屋みたいなところに住んでいたもので、隣のおばちゃんや世話をしてくれたり、近所の人に一緒に銭湯に連れて行ってもらったり、親たちも近所になんか相談のってくれる人がいるなど自然に近隣のサ

伊藤 こころから、これから意見交換の場を持たせていただければうれしいです。ところで、杉原先生は、なぜ小児科を選ばれたのですか。
杉原 内科は、消化器とか細分化されていますが、小児科は全身を診られるのが魅力で選びました。子供の世界は小さいけれど、先を読まない分、すごいパワーがあるんですね。大人は先が見えると思うんですけど、子供は何かと思うのですが、子供は何にもわからないから一生懸命頑張るし、意欲もあるんです。なのにつぶしてしまう大人がいるので、それは何とか避けたいと思っています。子供をちゃんと育てられる大人が多ければいい社会であって欲しいなと思います。子供って育てたように育ちますから。

伊藤 私も弁護士に少年事件を担当して、

(四面について)

(三面より)

考え方や価値観とかがすぐく

なる子がいって、こんな賢いの

かと思ったら、親に会うと同

じ価値観なんですね。やっぱり

家庭教育が大事だと思います。

杉原 そう。何がいちばん大切

なことかというところは、家庭

でしか教えられる。

伊藤 家庭環境がこれだけ影響

するのかわかることはすぐ感

じますね。小児科の先生が虐待

を見つけていることもありますか。

杉原 いえいえ。そういう人は

医療機関には来ないので、地域

の人や保育士とかが通報してく

れています。

伊藤 確かにそうかもしれない

い。因みに、揺さぶられっ子症

候群についてどうですか。

杉原 今、問題になっています

ね。結構無罪判決も出ていま

すよ。

伊藤 そうなんです。私もすぐ

く関心があって、虐待防止と冤

罪を作らないことをどう両立さ

せたらいいのか。虐待は見逃し

てはダメですが、冤罪を作っ

てしまったらダメです。また、今

問題になっているのが、無罪に

なっても、判決が出るまで1年

も2年も身柄を拘束されたり、

子供に会えなくて、0歳とか1

歳の子と1年も2年も会えない

と、親子関係を作るのが難しく

なるので、二重の虐待になって

しまつという点です。

杉原 うちもありました。4カ

月の赤ちゃんでけいれんがあっ

て救急受診し、眼底出血と急性

硬膜下血腫が見つかり、そのま

ま子供が一時保護となりました。

た。訴訟の話が出ていましたが。

伊藤 難しいですね。

杉原 (揺さぶられっ子症候群

の場合は)虐待したかどうかは、

誰にも分からないですよ。医

学的な根拠っていうのは、まだ

まだ分からないことばかりなの

で、揺さぶられっ子症候群で結

構医療側が負けているという

か、虐待じゃないと認定されて

いる事例が増えてますよね。

伊藤 先週も今週も1件ずつ大

阪で無罪判決が出たのですが、

本当に悩ましく、医学の面から

も重点的にやっていたけど分野

になっていくかと思いますが、

それについても取り組んでいこ

うと思っていますので、いろい

ろ教えて下さい。

杉原 こちらこそお願いいたし

ます。

そろそろ、お時間がきました。

本日は、尼崎までお越しいた

き、ありがとうございます。

伊藤 こちらこそ色々とお話し

ができてましてありがとうございます。

八田 ありがとうございますまし

た。

自民党兵庫県連 各種友好団体との 政策要望に係る意見交換会



会議風景

宮市・森脇保仁(宝塚市)・大前はるよ(西宮市)・原テツアキ(淡路市)・藤本百男(加東市)・谷口俊介(西区)・浜田知昭(洲本市)・水田裕一郎(姫路市)・福島茂利(兵庫区)・橋秀太郎(美方郡)・松本裕一(加古川市)の総勢16名の県議会議員の出席があった。

最重点要望事項

新型コロナウイルス診療に対する感染予防支援

来年度も収束の見込みがつかない新型コロナウイルス診療に必要な防護関連用具一式(ガウン、ゴーグル、N95マスク等)を、発熱患者を診る医療機関に無償で供給して欲しい。

黒川治 自民党健康福祉部会長、橋本寛 兵庫県医師連盟常任執行委員の挨拶の後、令和3年度県予算編成に対する最重点要望事項について橋本寛常任執行委員より説明し、実現方を強く要請した。

同党からは、健康福祉部会長の黒川治(尼崎市)並びに・原吉三(中央区)・山本敏信(高砂市)・藤原昭一(小野市)・石川憲幸(丹波市)・北川泰寿(西



黒川治健康福祉部会長

予算額
17,325,000円
・防護関連用具一式
3,850円×
4,500名
(ガウン、ゴーグル、N95マスク、手袋、シューズカバー、キャップ)



橋本寛常任執行委員

参議院議員 自見はなこ は、
議員活動や考え方等を広く知っていただくよう、
LINEを立ち上げています。
LINE登録にご協力をお願いいたします。



国民皆保険と安心を守ります

参議院議員・医師
自見はなこ

〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 504 号室
tel 03-6550-0504 / fax 03-6551-0504

兵庫県医師連盟ホームページ

医師連盟の主張や意見の広場、郡市区医師連盟の活動などを掲載し、随時内容を更新しています。

兵庫県医師連盟

検索

<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>